

# 子ども主体の学びで創る 湯田小学校教育構想図

ミッション

社会の中でよりよく生きる人づくり

学校教育目標

自ら考え、判断し、心豊かに行動できる子どもの育成

めざす子ども像

1. 礼儀正しい態度の取れる子ども 1. 仲間とともにがんばり合いがばっていく子ども 1. 自ら問いを見つけ学び続ける子ども

## 学校教育活動

### 子ども主体の学び

KEY WORD

しなやかに思考し、生き生きと学ぶ子どもの育成

しなやかに・・・

- ・一つの考え枠にとらわれず、多方面から考えを広げられる
- ・柔軟に物事を考えられる⇒失敗からのリカバリー（その過程に価値あり!）
- ・人を信頼し、愛情豊かな心（多様な価値観を受け入れる・協働）

#### 授業

『一人一人が問いと納得解を持って学ぶ授業』  
問い…なぜだろう、不思議だな、やってみたい  
⇒「導入の工夫」  
納得解…わかった・できた（自分の問いが解決）  
次の探究へ⇒「振り返りの充実」  
<そのために・・・>  
校内研究の充実  
⇒教材研究をもとにした授業づくり

自己エンジンで学び続ける子

#### 学級・児童会活動、学校行事

- 1 学校を自分たちの力でよりよくしよう  
・それが「ある」のは「する」のはなぜ?と、自分の身の回りのことを問い直し、よりよいものにしていこう
- 2 自分にできることで 役割を果たそう  
・一人一人が大切な存在、力をもっています。力を合わせて最後まで頑張ろう

チャレンジ・リカバリーできる子

教師も子どもも、自ら共に「楽しむ」「鍛える」「支える」

これからの社会

変化の激しい先行き不透明な社会  
（少子高齢化、情報化、技術革新、グローバル化、環境・貧困問題など）